

蔵王熊野岳スノーハイク山行報告

【山行日】 2024年 2月 12～13日(月火)

【集 合】 栃木市運動公園P AM 4:00

【費 用】 マイカー1台 : 19,300円

【メンバー】 CL:鈴木、 SL:廣瀬 飯野、石澤、小林、福島、

【コースタイム】12日: 栃木市運動公園 P4:00=山麓ヒュッテ 7:10/7:40～蔵王 RW 山麓駅 7:45/8:15
+++RW 地蔵山頂駅 8:50/9:23～地蔵岳中腹 9:50～RW 地蔵山頂駅 10:30+++RW 樹氷高原駅 10:40～
レストラン「とまとの森」11:00/11:40～ユートピアゲレンデから RW 樹氷高原駅 13:30/13:50+++
RW 蔵王山麓駅 14:00～山麓ヒュッテ 14:10

蔵王のスノーモンスターを見たいとリクエストがあり、3連休最後の12日と平日の13日で計画した。ネットでロープウェイの混雑状況を見ると、連休初日の10日は4時間待ちだったようだ。



急遽、出発時間を1時間早くして、栃木市運動公園を4:00に出発する。東北地方も暖冬で雪が少なく、高速道路や蔵王ロープウェイまでの道路には雪が全く無かった。蔵王ロープウェイ前の道路には、駐車場待ちの車で長蛇の列が出来ていた。その車の列を尻目に、脇を通って宿の「山麓ヒュッテ」駐車場に車を止める。駐車場にはさすがに雪が有り、スタッドレスタイヤでないとスリップしてしまう。

宿の女将が玄関脇の部屋を使わせてくれ、温かい部屋で出発の準備を整える。石澤さん達は車で出発の準備をして、さっさとロープウェイ駅に向かいチケットを購入し列に並

んでくれた。お蔭で前の方に並ぶことが出来、9時前に山頂駅に着くことが出来た。山頂駅でトイレを済ませ、風が強いので山頂駅の中でスノーシューを付ける。スノーシューを付けていざ出発しようとする、小林さんが外から入って来て「手首を骨折したみたい」と言う。皆がスノーシューを付けているのに気付かず外にあわてて外に出て行き、凍った雪面で転倒し右手を付き骨折したようだ。医務室があったので診てもらったが、「ここでは手におえないので直ぐに医者に診てもらってください」との事。我輩と小林さんはロープウェイに乗って宿まで戻り、宿の主人に病院へ連絡を取ってもらう。



休日なので病院は皆休診日だが、「みゆき会病院」と言う大きな病院が受けてくれた。

車で病院へ向かい、休日担当医の先生がレントゲン検査をし、折れた骨を戻してギブスを当ててくれた。でも、「あくまでも応急処置なので、地元の病院で出来るだけ早く手術を受けてください」と言われ宿に戻った。宿に戻って部屋に案内され、小林さんと2人で昼食を食べたら皆さんの帰りを待つ。

私たち4人はSリーダーたちと別れて、先ず蔵王地蔵尊へ向かった。地蔵尊は腰から上が見えていた。後でSリーダーに話すと、以前はほとんど雪で埋まっていたとのこと。それだけ雪が少ないら



しいが、自分にとって、こんなにたくさんの雪は久しぶりと言うか、初めてに近い感覚だった。雪はフカフカのサラサラだった。一面真っ白で、樹木の形に雪がおおいかぶさっている。横すじに黒い所が見えるのでそこが枝だと分かる。迫力ある素晴らしい雪景色だった。

何人かの人が地蔵尊から右方向へロープをくぐり、斜面を登って行っていた。同じくロープ

をくぐり樹氷の間を歩いた。右に左に道を見付けて歩いた。スノーシューの楽しさを味わった。曇り空で視界はあまりよくないが、前の人たちが急斜面を登って行くのは分かった。たぶん地蔵岳へ向かう人たちだと思い、後をついて斜面を登って行った。風が少しあったが、体が温まり気持ちよかった。樹氷もだんだんモンスターっぽくなってくる。急斜面を10分位登った時、寒いから下りようとなったので、9:50に折り返した。下りながらも樹氷を楽しんだ。

写真を撮ったり、行きたい方向に進んだりした。

地蔵山頂駅に10:30に着くと下りゴンドラには直ぐ乗れた。

下りゴンドラの中から見る景色も素晴らしかった。遠くの山並みが明るく見えている。このまま下りてしまうのはもったいないので、乗り継ぎの樹氷高原駅で一旦下りることにした。山頂駅の標高は1660mだった。樹氷高原駅は1330mなので、風の冷たさも穏やかだった。何より明るくなって「もしかしたら晴れる？」と期待を持たせてくれた。ゴンドラの中から青い三角屋根が見えていて、「レストランかな。」と話していた。ゴンドラを下りて歩き出した時、青い屋根のレストランで「コーヒーでも飲もうか。」となった。レストランは「とまとの森」という名前だった。コーヒーの予定が、もう11:00になっていたので「お昼を食べよう。」となった。

それぞれ好きなメニューを選んで注文した。4人で窓際のカウンター席に座り、雪景色を目の当たりにしながら昼食を楽しんだ。

昼食後は、ゲレンデを横切って樹林間に入り、なだらかに大きく

迂回しながらゲレンデの上の方を目指して登って行った。新雪に踏み跡をつけながら歩くのが楽しかった。ここもフカフカのサラサラだった。斜面を10~15分位登って行くと、ほぼ平らな樹林帯に入った。隣のゲレンデは後で見たらユートピアゲレンデという所だったらしい。樹林帯に入ると本格的なモンスターを見つけることができた。「マリア様」「リンカーンの顔」とか名前を付けながら楽しんで進んで行った。雪があまりにもフカフカだったので、大の字に倒れ込む人もいた。



左に休止しているリフトが見えた所で戻ろうかとなり、また楽しく歩き出した。樹林帯の中は本当にユートピアだった。モンスターを別の角度から見られて新たな発見がたくさんあった。マリア様と名付けたモンスターまで戻り、またじっくりと眺めた。

黒姫ゲレンデ方向に分岐する所まで来ると、見晴しがよく広い展望台のような個所があった。遥か遠くの白い山並みに光が当たって綺麗だった。西方向だと思うので「飯豊連峰かな。」と話すが、Sリーダーがいないので確証はもてない。「たぶん飯豊だよ。」ということになった。

時々、天気がよくなり遠くの景色がよく見えるのが嬉しい。

そこからの下りは今までと比べて急だったが、スノーシューを上手に使い、樹林間を楽しく下って行った。行きよりも一回り迂回していたので、なだらかで歩きやすかった。時々ゲレンデに出そうになるので、気を付けて端っこを下った。最後はどうしてもゲレンデを横切ることになる。大通りを渡る歩行者の気持ちで、スキーヤーが切れた時「右、左、右。」と見て渡った。後で「上、上、上。」でよかったんだと気付いた。もう、13:30 になっていたので、樹氷高原駅で待つことになった。ゴンドラに乗れたのは 13:50 だった。ゴンドラの旅を楽しんだ後、山麓駅から歩き、ヒュッテに着いたのは 14:10 だった。ヒュッテで合流して2人の顔を見た時は安心した。 (福島 記)

13日:山麓ヒュッテ 8:40=安達太良 SA9:45/10:00=栃木市運動公園 P111:45

朝起きてカーテンを開けると快晴で、ロープウェイの地蔵山頂駅が陽射しを受けて輝いていた。7:30に1階の食堂へ行き朝食をいただく。炊き立てのご飯と熱い味噌汁に焼き海苔、焼き魚等々定番の朝食を美味しくいただいた。朝食が済んだら部屋に戻り、出発の準備をして車に向かう。車に荷物を積み、宿の御主人と女将に挨拶し出発する。山形上山 IC に向かう途中の山道から、飯豊連峰と朝日連峰の山々が真白く輝いて見え「ウワ～凄い！」と歓声が上がる。今日は快晴の天気で蔵王連峰も山頂まで見えるが、風が強い予報が出されている。後日ヤマレコ熊野岳の記録を見ると、多くの方が強風の為途中で登頂を断念し、山頂まで登った人は数人しか無かったようだ。途中から TEL で佐野厚生病院へ診察の受付をお願いするが、10時までに来院できないと受付は出来ませんと断られた。どんなに急いでも昼頃になってしまう。山形上山 IC から東北中央自動車道に入り、福島JCTから東北道に入って安達太良SAで休憩する。ここからも順調に走り、昼前に栃木市運動公園へ帰着した。小林さんは運転が出来ないので、昨日家族の方が車を自宅に移動し、福島さんが小林さんを自宅まで送って行った。思いもよらぬアクシデントが起きたが、大事な至らず本当に良かったと思った。